

10年後の地域の姿 ～「共存」か「共生」か～

埼玉県芝園団地自治会
事務局長 岡崎広樹さん

開催概要

日時:2019年7月4日(木)、
午後2時～3時30分

会場:藪塚本町文化ホール(カルトピア)

対象:区長・区長代理

参加数:141人

「共存」

お互い静かに暮らせる関係

「共生」

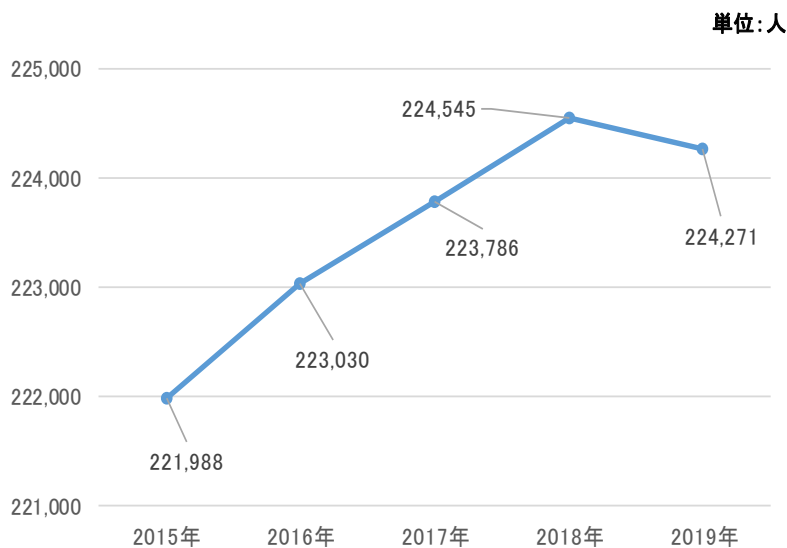
お互いに協力する関係

発表次第

1. 太田市の外国人住民数の現状
2. 川口芝園団地の紹介
3. 生活習慣の違いに伴う問題の発生
4. 外国人住民を交えた地域づくり
5. 町会・自治会の役割
6. 日本人同士も難しい「共生」

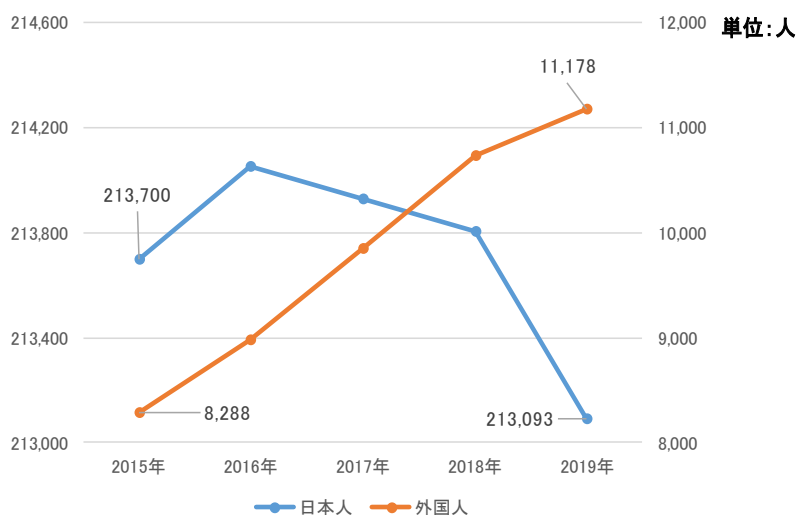
1. 太田市の外国人住民数の現状

太田市の人口推移



参考: 太田市の人口推移(住民基本台帳人口) 年別の人口推移(平成17年～)

太田市の日本人・外国人住民数の推移



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
外国人/総人口	3.9%	4.2%	4.6%	5.0%	5.2%

参考: 太田市の人口推移(住民基本台帳人口) 年別の人口推移(平成17年～)

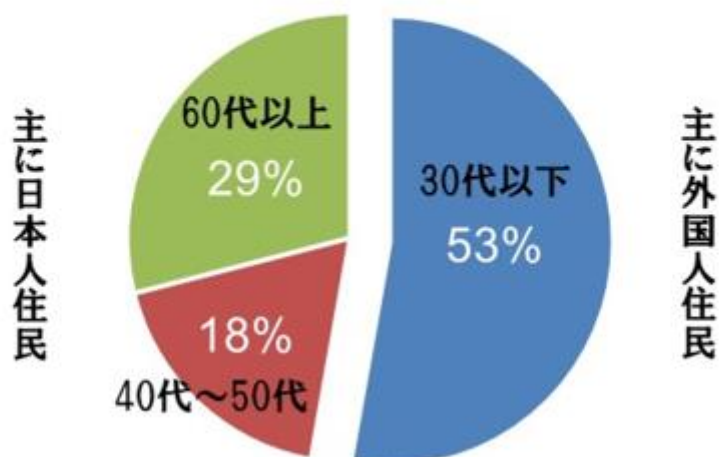
太田市の人口増加は、外国人住民数の増加と推察される。

2. 川口芝園団地の紹介



- 1978年築、10万㎡
- 入居者約5000人のうち半数以上が外国人住民（9割が中国人）
- 団地内には幼稚園や商店17店舗がある（約半数は外国人経営）

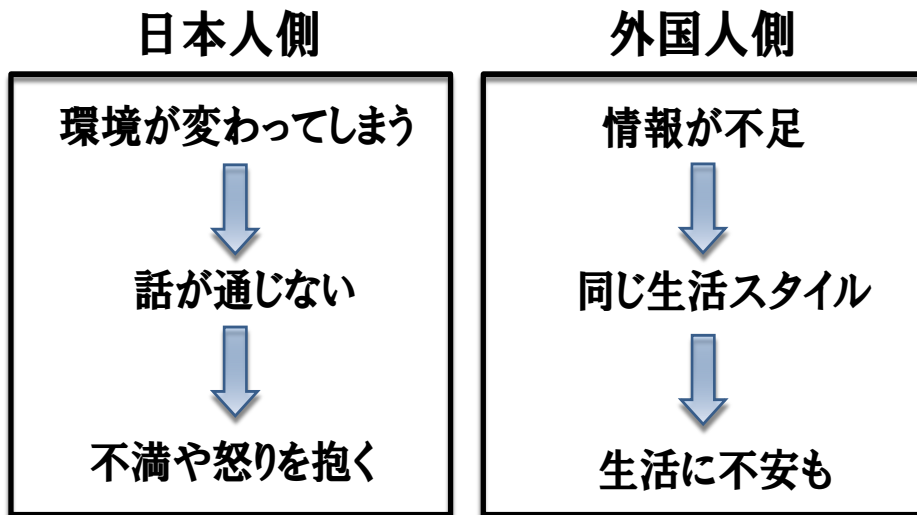
住民の年代割合



参考: 平成31年1月1日 町丁字別年齢別人口(川口市)

3. 生活習慣の違いに伴う問題の発生

外国人住民の集住による現実



■ポイント 1

母国との生活習慣の違いが、日本人住民にとっての生活トラブルになりやすい。

→構造的な要因のため、
その対処が必要。

4. 外国人住民を交えた地域づくり

注意事項

欢迎各位入住UR芝園団地，为使各位入住者能与周围居民融洽、和谐共处，过上愉快的团地生活，敬请遵守以下所记事项。

- 请不要往阳台上放箱子等物品，这些物品有可能成为小孩子的踏板，稍有不慎就有坠落的危险。
- 严禁从阳台上往下扔垃圾及烟头。
- 关于搬家时的大件垃圾（任一边长超过40厘米）请勿忘记打申请电话（048-251-1111），打完电话之后到公民館或所在市的24小时店购买缴纳券。注意缴纳券的受理号码要与你所申请的大件垃圾一致，否则不被回收。
- 地板容易传音请采取铺上地毯或厚垫儿等措施来防止传音。另外，当您开关门窗及走路时也敬请留意。
- 夜晚及凌晨时的说话声很容易传到周围，敬请留意。
- 楼梯及房门前不可以放私人物品，包括垃圾。
- 避免重要信件收不到，请一定到市政府及邮局办理住址迁移手续。

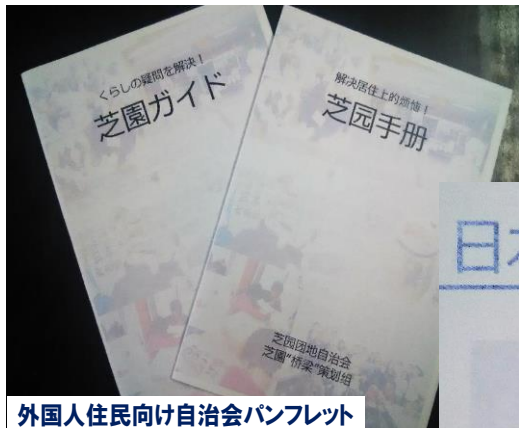
郷に入れば郷に従え？

■入居時の注意事項

→管理事務所で配布されるA4一枚の書類

→郷に入れば、郷に従えとは言うけれど

自分の知らないこと（生活習慣の違いなど）は、文字だけで言われても分かりにくい。



外国人住民向け自治会パンフレット

ポイント

- ①見て分かるように（イラストを多用）
- ②そうして欲しい理由を書く



相手にいかに伝わるかを担保することが大切。

芝園団地の3つの“ない”

課題		解決策
両住民の共通項が少ない (生活習慣・文化・世代差)	→	外国人住民を役員に
マンパワーもアイデアもない	→	地域の組織に協力を求める
若い日本人がいない	→	地域外の大学生と協働する

■ポイント 2

多様な背景を持つ人々の間には、
人間関係が自然とできにくい。

→ 構造的な要因のため、
意識的な橋渡しが必要。

自分と共通項の多い人と人間関係ができる。
しかし、いろいろな人が増えると(世代・国籍差など)共通項が少なくなる。

開かれた自治会構想

持ち寄りランチ会



中国人住民が先生の中国語教室

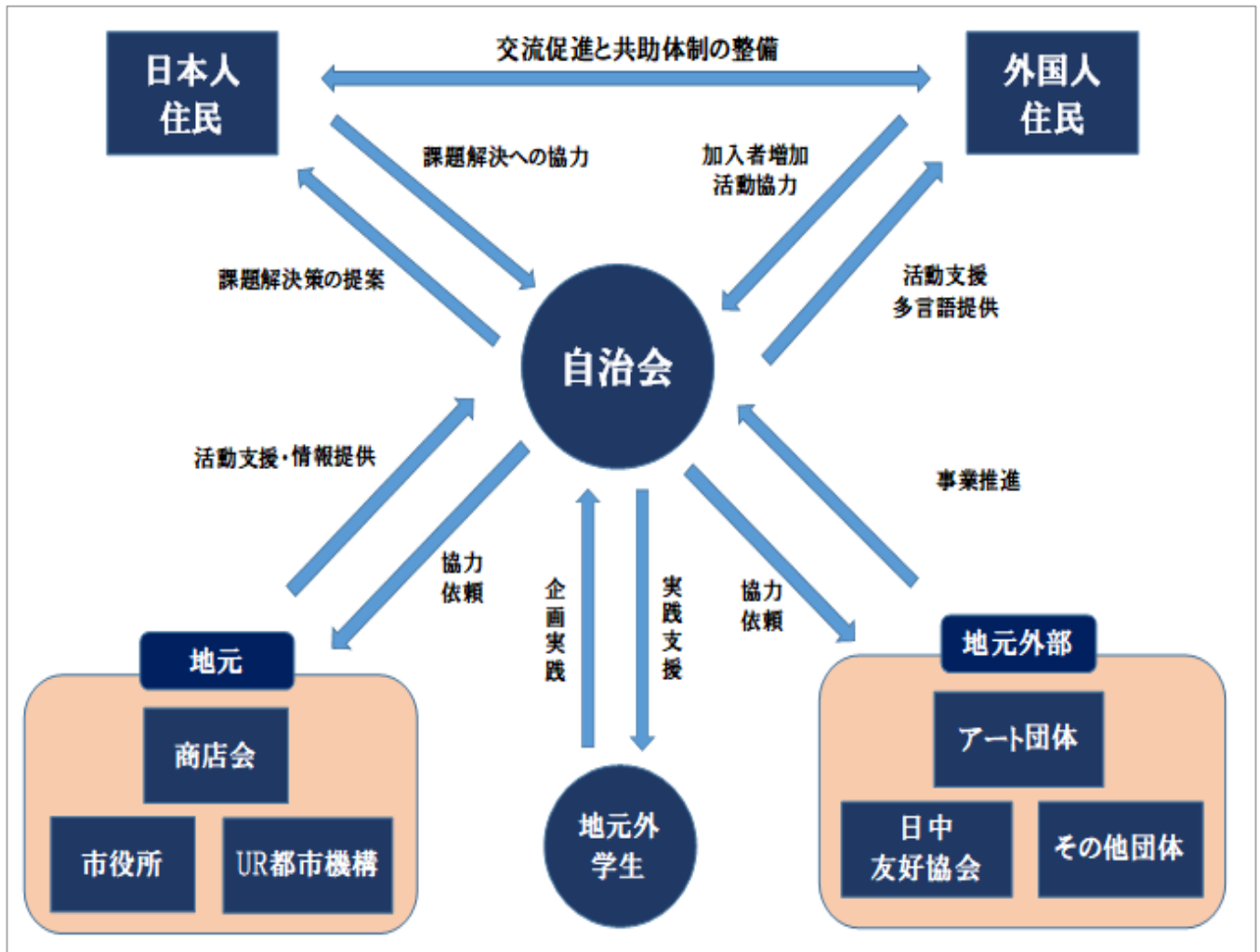


多文化交流クラブ



企画から一緒に考える
ことで、人間関係をつくる。

ものづくり教室



芝園かけはしプロジェクト



共通項が少なくなってきた



人間関係を意図的につくる

5. 町会・自治会の役割

地縁は自然と生まれない

地縁の説明（大辞林 第三版）

同じ地域に住むことによってできた縁故関係。

→地域に住むことによってできたつながりが無いと、地縁は生まれない。

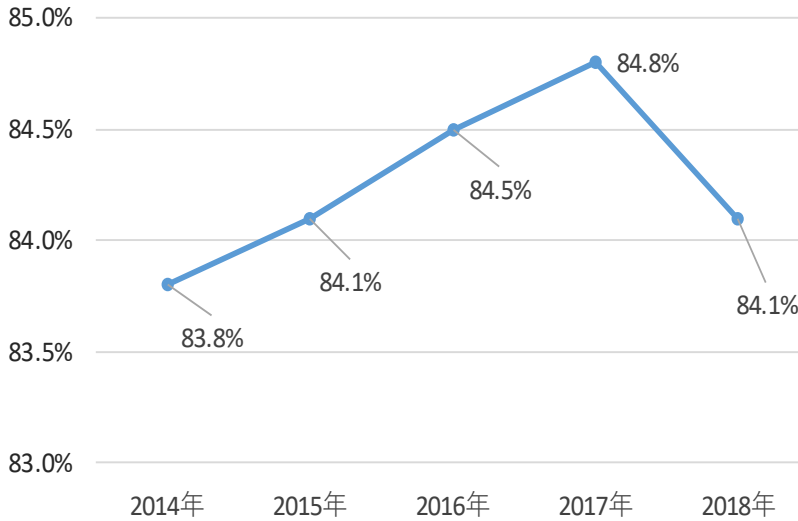
関係づくりのきっかけは「自治会」。

「開かれた自治会構想」では、自治会が外部組織の受け皿になれる（自治会の人々が、しっかり活動してきたという地域住民の信頼を得ているからこそできる）。



6. 日本人同士も難しい「共生」

自治会の加入率推移(太田市)



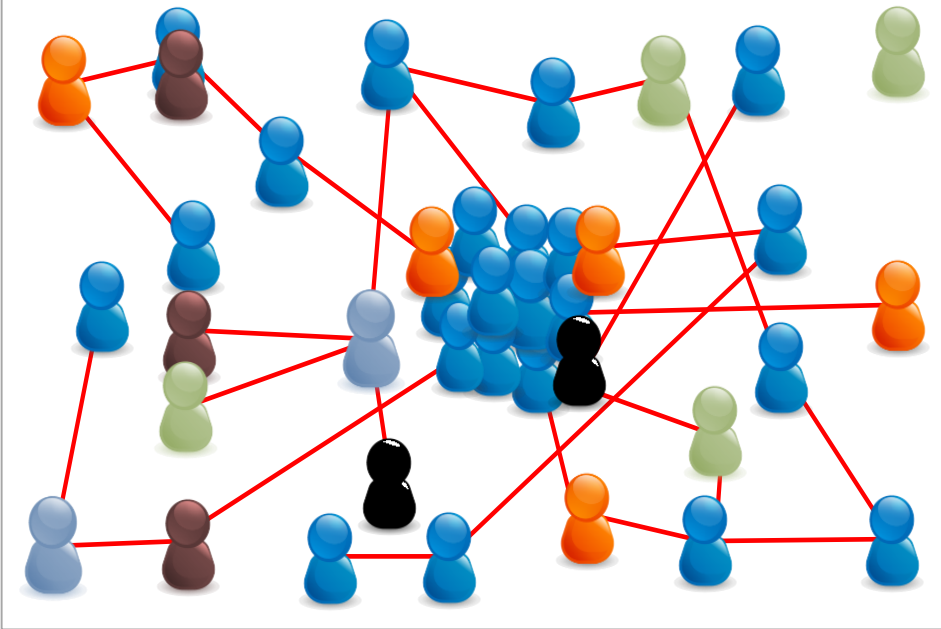
特殊に見られがちな外国人集住地域



外国人が来たから共生しにくいということではない。
日本人同士でさえ共生できているか疑わしい。

共生の話=日本社会の現状
見知らぬ隣人をどこまで受け入れるかという「人間の性質」の話。

これからの地域社会



いろいろな人が増える（世代・国籍差など）と集団が成り立たなくなる。
これまでの共通項が多い人同士の集団的コミュニティではなく、
これからは個人のネットワークの総体がコミュニティになるのでは。

いろいろな違いのある人が増えてくる今後、
外国人を地域でどう受け入れるのが問われている。

共存？

共生？